



子宮頸がんの
予防に向けた啓発を
小山 よかこ（創風）



問／子宮頸がん検診の周知状況と受診推奨に向けた取組について聞きたい。

答／健康診査カレンダーで案内を行っている。また、毎年21歳になる全ての女性市民に対し、

検診の必要性の啓発と受診勧奨を図るため、子宮頸がん検診の無料クーポン券を配布している。

問／HPVワクチンの今後の情報提供や周知について聞きたい。

答／積極的な勧奨の再開に当たり、国ではワクチン接種に関する新たなパンフレットを作成し、ワクチンの有効性や安全性に関する情報を周知することとしており、当市も、令和4年度に対象者へ個別通知するほか、ホームページや広報上越への掲載などにより周知していく。

養鶏場からの悪臭の対策は

問／養鶏場からの悪臭に関し、事業所での対策の進捗と今後の臭気対策の取組を聞きたい。

答／市に苦情が寄せられた際、速やかに事業所に連絡し、改善に向けた対応を求めるほか、現地確認や協議、指導を行っている。事業所では、悪臭の改善に向け、ウインドレス型の鶏舎への更新や、脱臭装置付き密閉型コンポストを増設するなど、対策が進められている。今後も事業所との協議、指導を行い、悪臭の防止対策が図られるよう市内の関係部署や県と連携していく。



謙信公没後450年、
生誕500年に向けて
高橋 浩輔（みら）



問／市長は公約で「春日山城を上杉謙信公の聖地とし本格的な観光地に整備します」としている。2028年は謙信公没後450年、2030

0年は謙信公生誕500年に当たる。50年、100年に一度の大変貴重な節目の年である。これを大きなチャンスと捉え、春日山城跡の整備を進めていくべきと考えるがどうか。

答／節目の年に向かって、目標を立てて整備をしていきたいと思う。

問／現在ある埋蔵文化財センターに謙信公の資料等をできる限り集約し、謙信公について学びたい、研究したいという方々のニーズにも応える研究施設「(仮称)謙信公ミュージアム」として整備できないか。また、合併前上越市や13区の物産を集め、情報発信拠点として、そして上越市の一体感を象徴する場としても整備し活用できないか。

答／施設本来の目的は、地域の埋蔵文化財の保存活用を図るものであるが、好立地であるため、現在はビクターセンター的な活用もしている。春日山は通年観光の一つの柱であり、計画的に様々な整備をしていかなければならないが、当然その中には埋蔵文化財センターも含まれてくる。計画はこれから作られるが、物産のことも含めて、皆様のご意見を頂きながら進めていきたい。



当市の国際的な取組が
人口減少対策の鍵？
ストラットン恵美子（久比岐野）



問／外国人市民が安心して暮らせるよう、利用される商店、郵便局や銀行などを中心とした「やさしい日本語」を広める取組はどうか。

答／外国人が日常使う店舗等へガイドブックを配布するなど、活用できるように取り組む。

問／日本語を全く使えない児童生徒が多数編入した際のケア、保護者へのサポート体制は。

答／国際交流協会との連携による日本語教師の派遣や就学前指導等、より一層の体制を整える。

問／災害時における外国人市民の支援体制は。

答／生活ガイドなどの多言語語化、アプリの活用などを含め、上越市地域防災計画に沿って、しっかり対応できる体制に努める。

インバウンドを見据えた市のおもてなしとは

問／インバウンドを見据えた「通年観光」とは。

答／雁木や町家、寺町など当市が誇る歴史文化、変化に富んだ気候風土が育んだ地酒や郷土料理、市民による外国人旅行者案内など、市全体でもてなしできる環境づくりを積極的に行う。

コロナ禍における習い事支援は

問／コロナ感染回避で低迷した子どもたちの習い事を支援する考えはないか。

答／所得状況等に応じた各種支援を行っており、習い事に特化した助成は現在考えていない。